

2. 指標設定

成果指標	指標名	急傾斜地の崩壊対策		目標年度	指標の設定理由			
	数値	—			土砂災害から受益者の生命・財産を守るため			
活動指標	指標	a	地元対応	b	c		d	
	数値	目標	—	目標	目標		目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H23	H24	H25
急傾斜地の崩壊対策		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H23	H24	H25
a 地元対応	ヶ所	4ヶ所	6ヶ所	5ヶ所
b		—	—	—
c		—	—	—
d		—	—	—

4. 課題と対応

課題
順番待ちの状態である。
対応（改善点等）
県に事業枠の拡大を要望していく。

5. 事業費・・・H23～H25（決算額）、H26（予算現額）

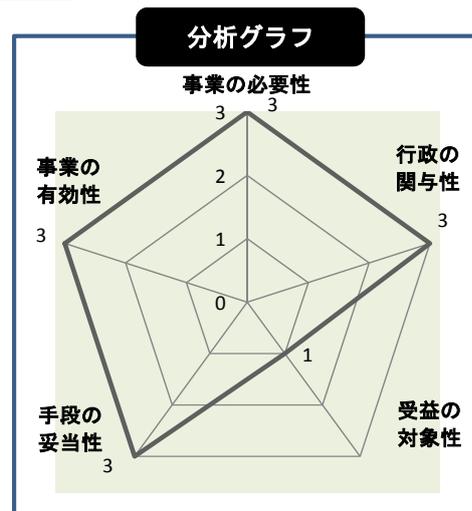
決算額（千円）		H23	H24	H25	H26
うち経常経費		4,953	14,050	9,420	14,586
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他				
	一般財源	4,953	14,050	9,420	14,586
うち経常					
事業費に係る人件費		3,354	3,263	1,308	843
事業費に係る人役		0.78	0.76	0.30	0.19

6. H27年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
崩壊対策であり必要である。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 受益者の生命・財産を守る。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 事業主体は県であるが市が関与する必要がある。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1 地元要望に対応している。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 適切な手段である。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 適正に対応している。



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	事業実施に努めること。